

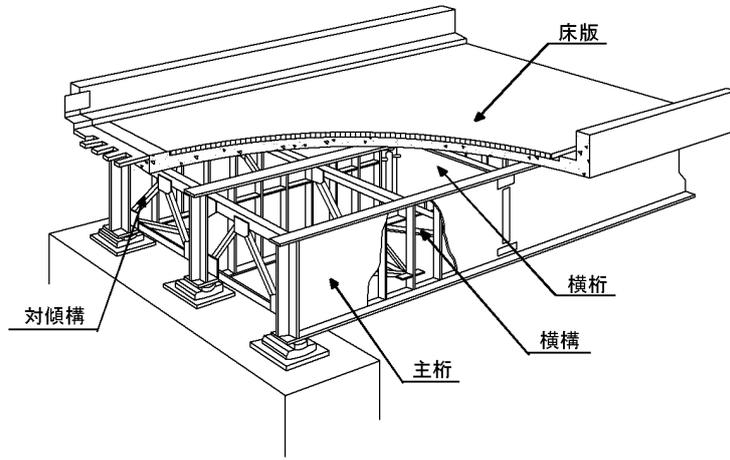
2 各部材の名称と記号

付表－3. 1 各部材の名称と記号

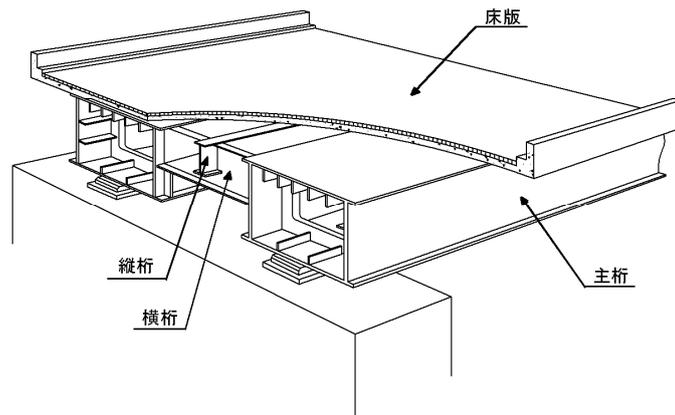
工種	材料	部材種別	主要部材
上部構造	鋼	主桁	○
	コンクリート	C0 横桁	○
	その他	縦桁	○
		床版	○
		対傾構	
		横構	
		上横構	
		下横構	
		主構トラス	
		上・下弦材	○
		斜材・垂直材	○
		橋門構	○
		アーチ	
		アーチリブ	○
		補剛桁	○
		吊り材	○
		支柱	○
		橋門構	○
		ラーメン	
		主構（桁）	○
		主構（脚）	○
		斜張橋	
		斜材	○
		塔柱	○
		塔部水平材	○
		塔部斜材	○
		外ケーブル	○
		その他	
工種	材料	部材名称	
下部構造	鋼	柱部・壁部	
	コンクリート	C0 梁部	
	その他	隅角部・接合部	
		その他	
工種	材料	部材名称	
下部構造	鋼	胸壁	
	コンクリート	C0 縦壁	
	その他	翼壁	
		その他	
工種	材料	部材名称	
下部構造	鋼	フーチング	
	コンクリート	C0 その他	
	その他		
工種	材料	部材名称	
支承部	鋼	支承本体	
	コンクリート	C0 アンカーボルト	
	その他	沓座モルタル	
		台座コンクリート	
		その他	
工種	材料	部材名称	
支承部	鋼	落橋防止システム	
	コンクリート	C0	
	その他		

工種	材料		部材名称
路上	鋼		高欄
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		防護柵
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		地覆
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		中央分離帯
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		伸縮装置
	ゴム		
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		遮音施設
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	鋼		縁石
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
路上	アスファルト	As	舗装
	コンクリート	C0	
	その他		
工種	材料		部材名称
排水施設	鋼		排水ます
	塩ビ		排水管
	その他		その他
工種	材料		部材名称
点検施設	鋼		点検施設
	その他		
工種	材料		部材名称
添架物	鋼		添架物
	塩ビ		
	その他		
工種	材料		部材名称
袖擁壁	コンクリート	C0	袖擁壁
	その他		

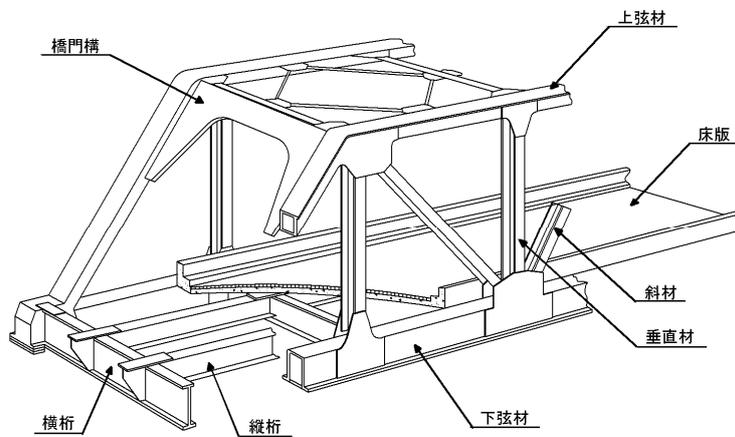
- ・上部構造²⁾
鋼鈹桁



鋼箱桁

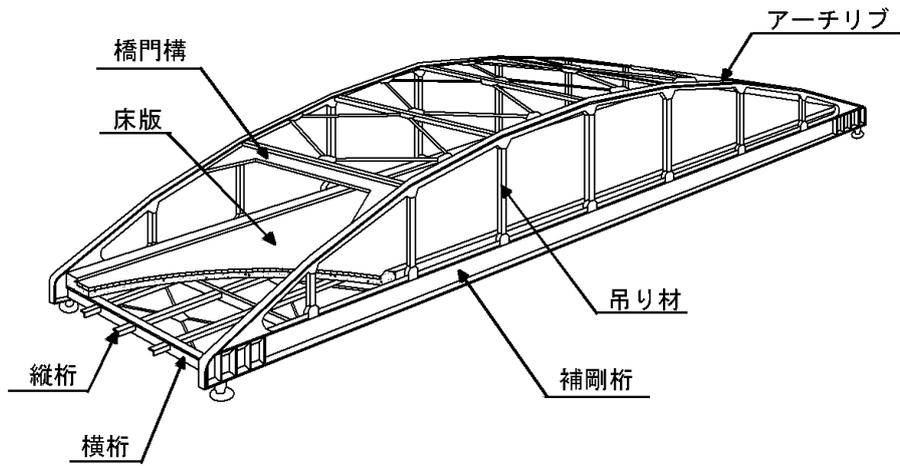


トラス

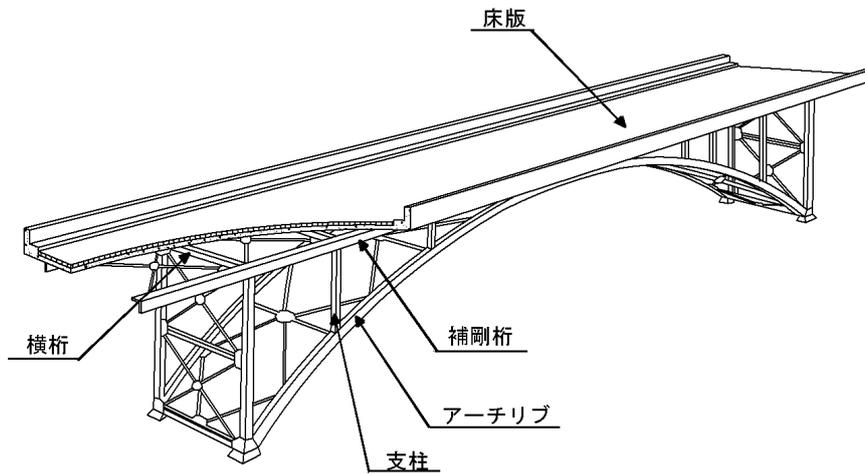


付図-3. 1 部材の名称 (その1)

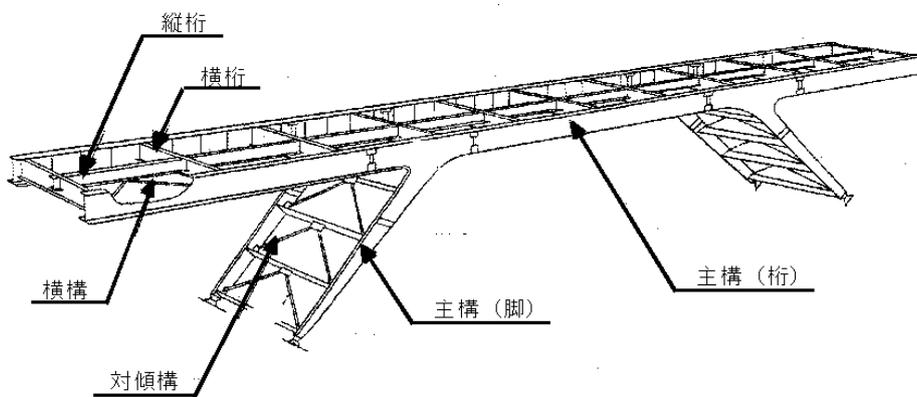
アーチ（下路式）



アーチ（上路式）

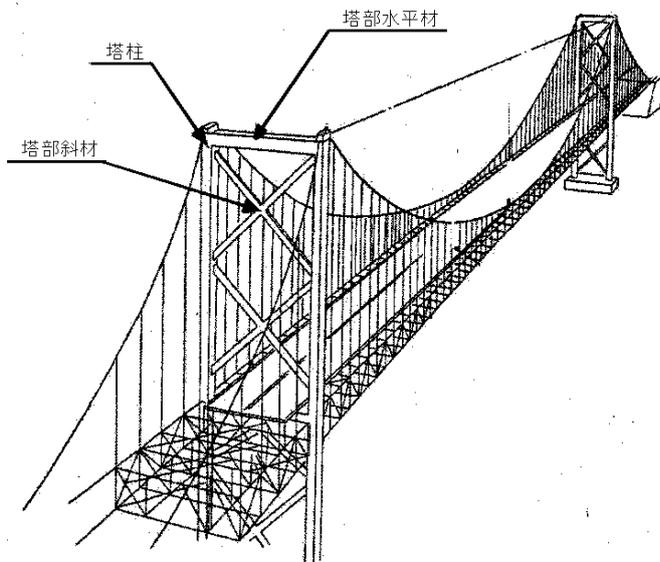
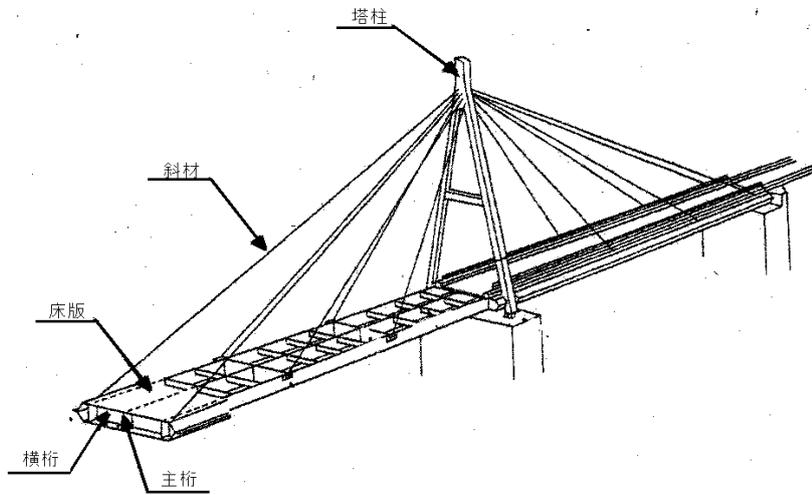


ラーメン

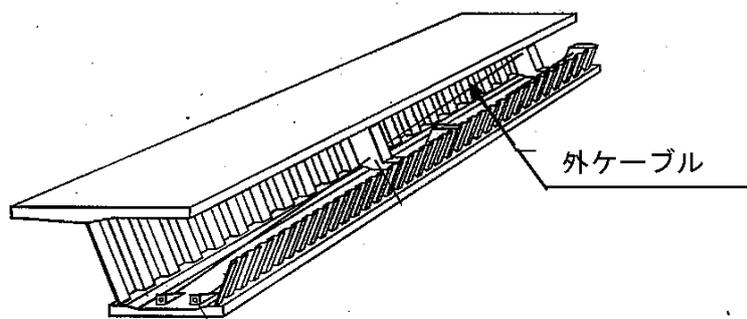


付図-3. 1 部材の名称 (その2)

斜張橋・吊り橋

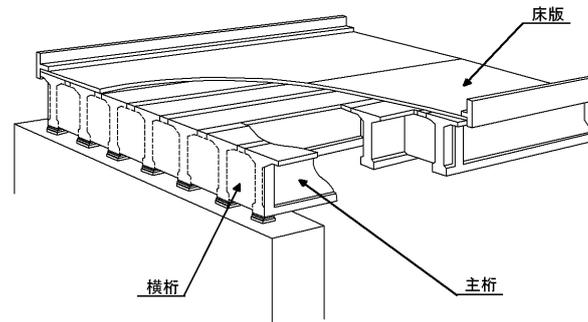


外ケーブル

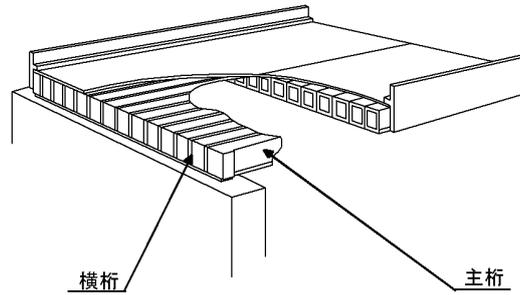


付図-3. 1 部材の名称 (その3)

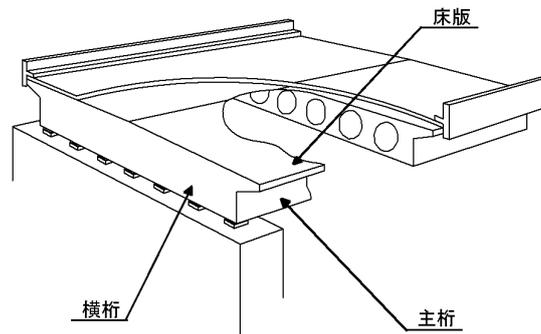
PCT桁、RCT桁



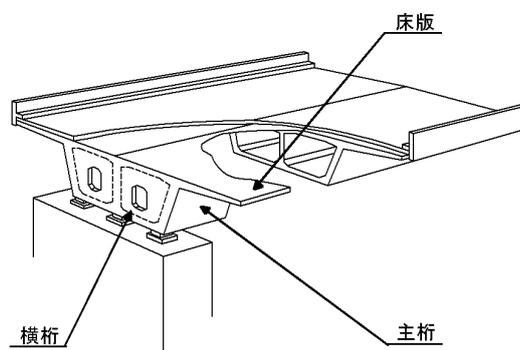
PCプレテン中空床版



PCポステン中空床版



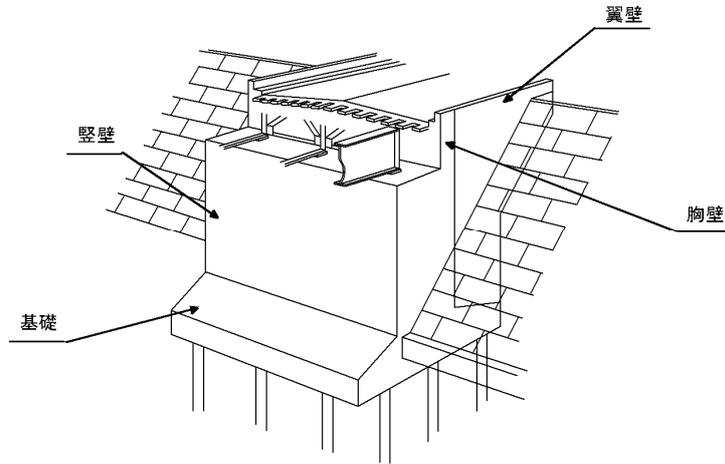
PC箱桁、RC箱桁



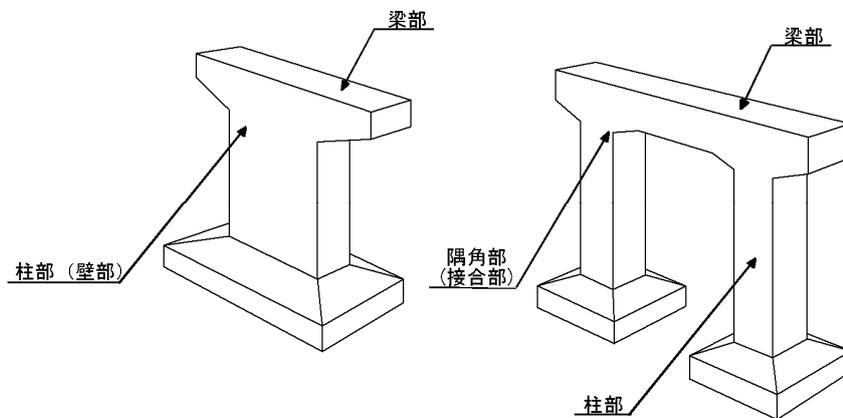
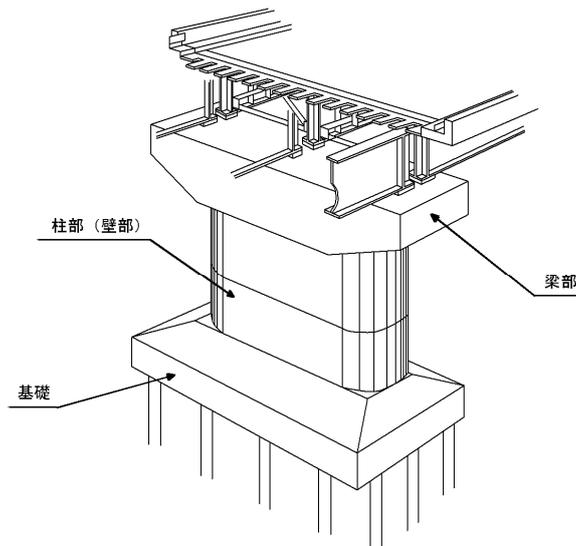
付図-3. 1 部材の名称 (その4)

・下部構造³⁾

橋台

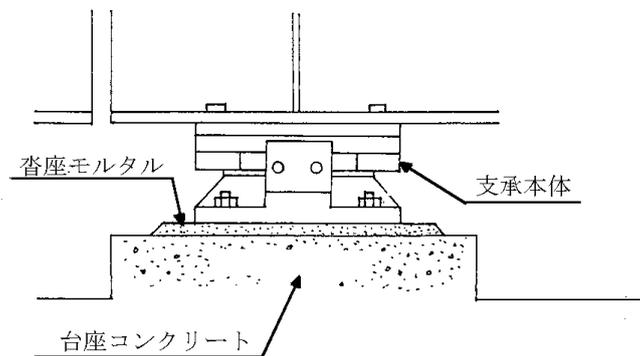
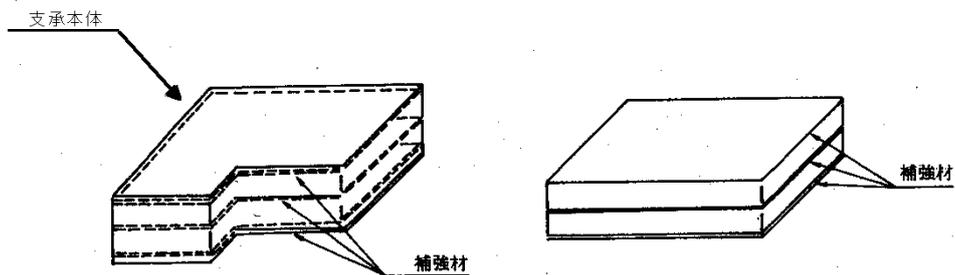
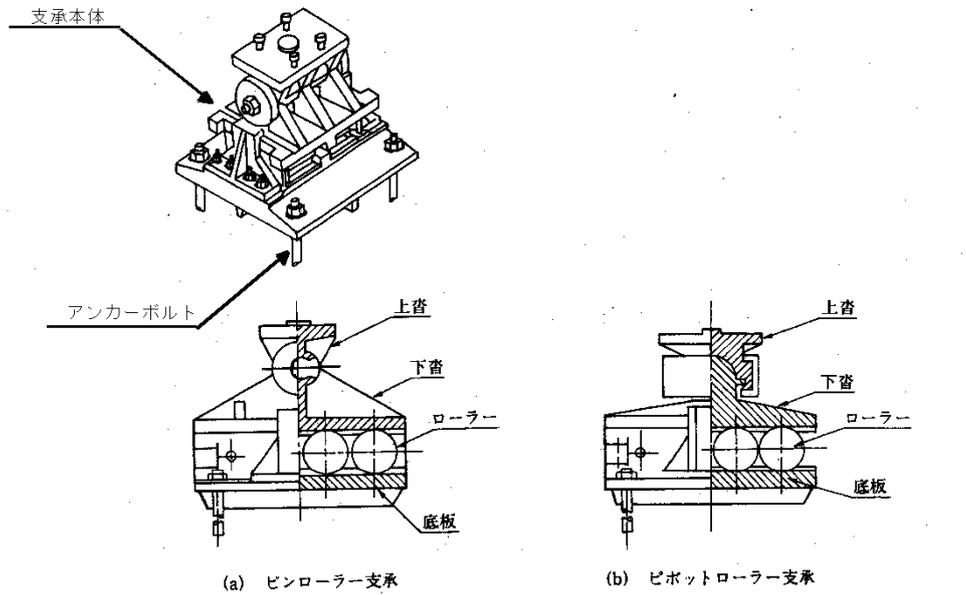


橋脚



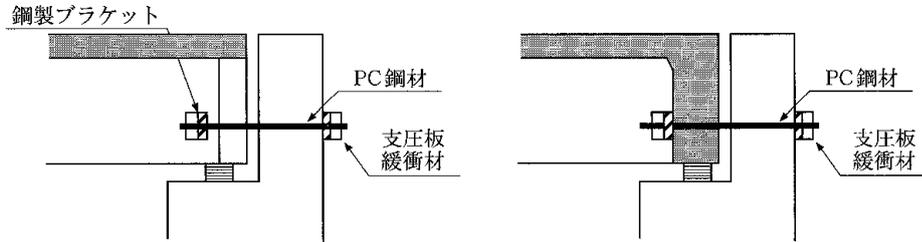
付図-3. 1 部材の名称 (その5)

・ 支承部⁴⁾



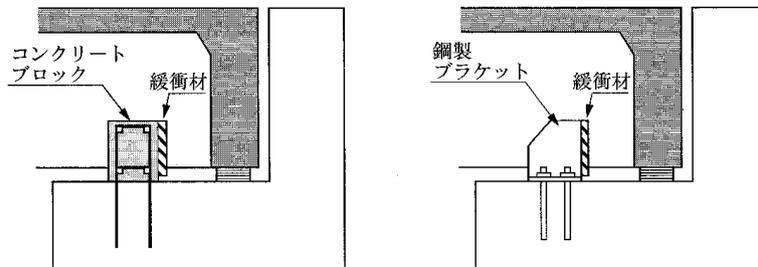
付図-3. 1 部材の名称 (その6)

落橋防止システム



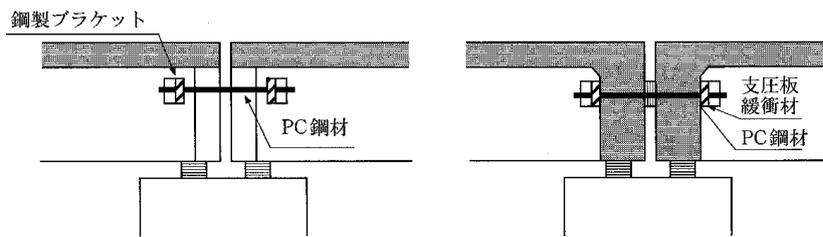
(a) 鋼上部構造の場合

(b) コンクリート上部構造の場合



(a) コンクリートブロックを用いる落橋防止構造

(b) 鋼製ブラケットを用いる落橋防止構造

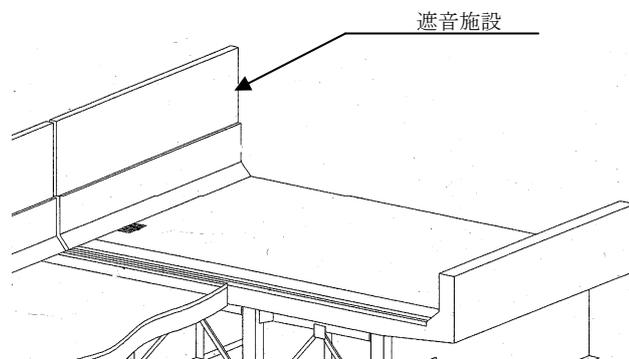
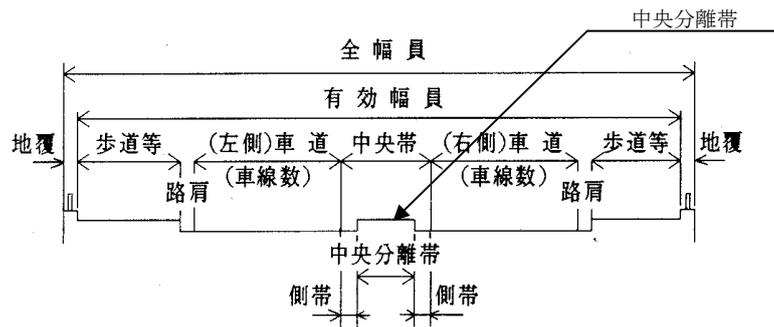
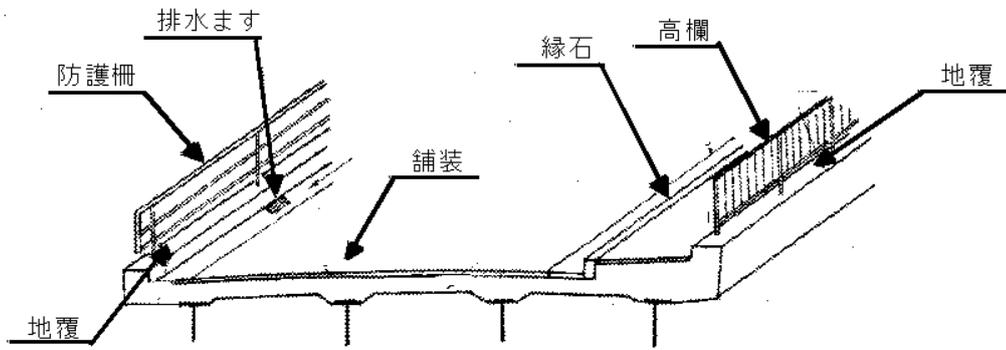


(a) 鋼上部構造の場合

(b) コンクリート上部構造の場合

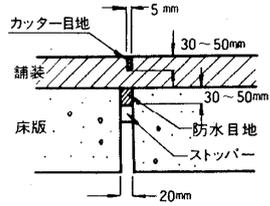
付図-3. 1 部材の名称 (その7)

・路上⁵⁾

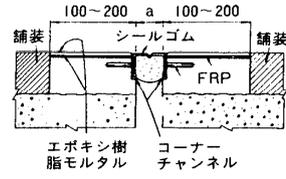


付図-3. 1 部材の名称 (その8)

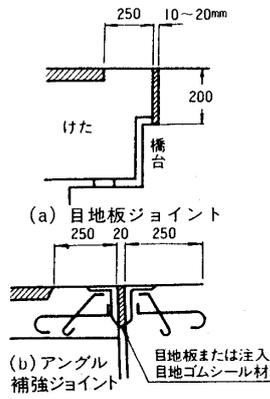
伸縮装置



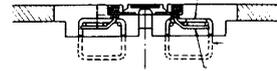
埋設目地形式



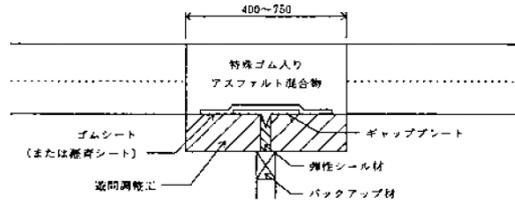
突き合わせ後付形式の例



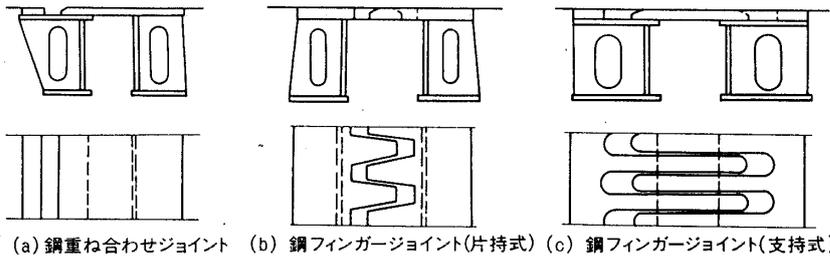
突き合わせ先付形式



ゴムジョイント形式の例



埋設ジョイント形式例

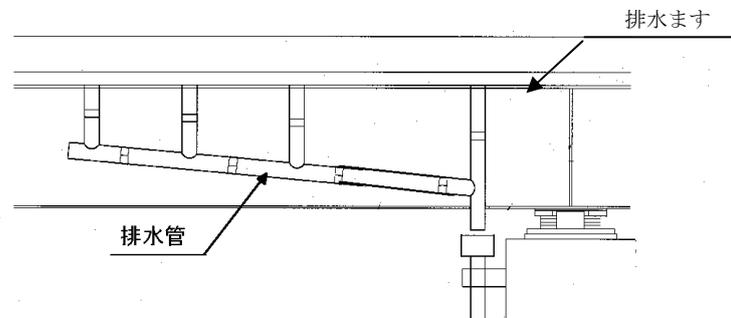


(a) 鋼重ね合わせジョイント (b) 鋼フィンガージョイント(片持式) (c) 鋼フィンガージョイント(支持式)

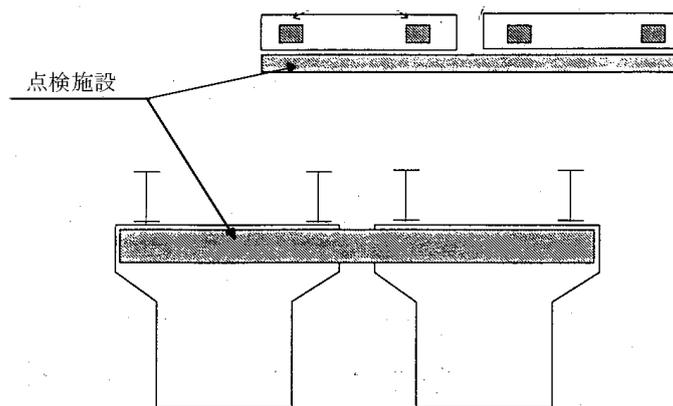
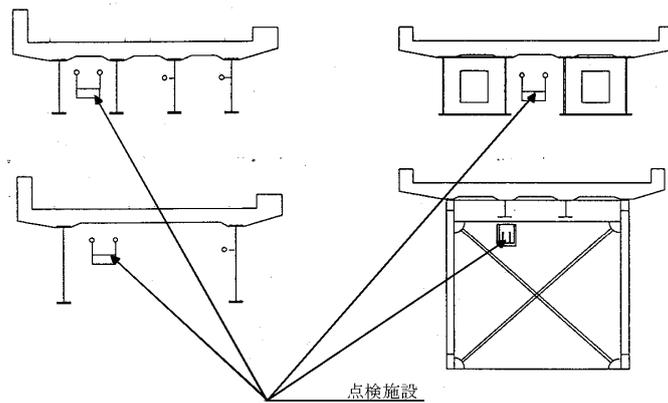
4

付図-3. 1 部材の名称 (その9)

・排水施設⁶⁾



・点検施設



付図－3. 1 部材の名称 (その10)

3 部材番号の定義

「部材番号」は、各径間について損傷の程度の評価を行う部位・部材ごとの最小評価単位の番号である。

部材番号は、各部材・部位ごとに2桁（支承等、一部の部材・部位は3桁）の番号をつけるものである。

番号は図の左側（＝起点側）から右側（＝終点側）へ、もしくは上側から下側へ向けて順に増加するようにつける。

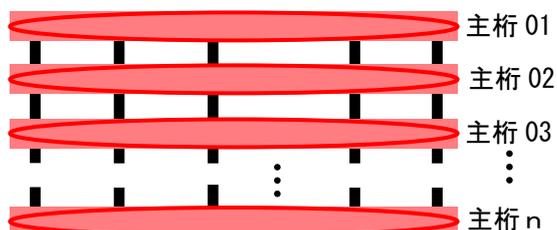
なお、部材番号は損傷の経年変化を把握するために、初期入力されたものを変更してはならない。

橋梁の拡幅、補強等によって、部材の追加、変更が生じた場合は、既存の部材番号を変更は行わず、新規の番号を追加するものとする。

部材番号の具体的なつけ方を以下に示す。

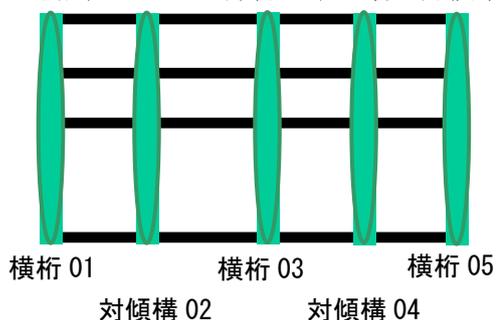
【主桁】

主桁1本を最小評価単位とする。



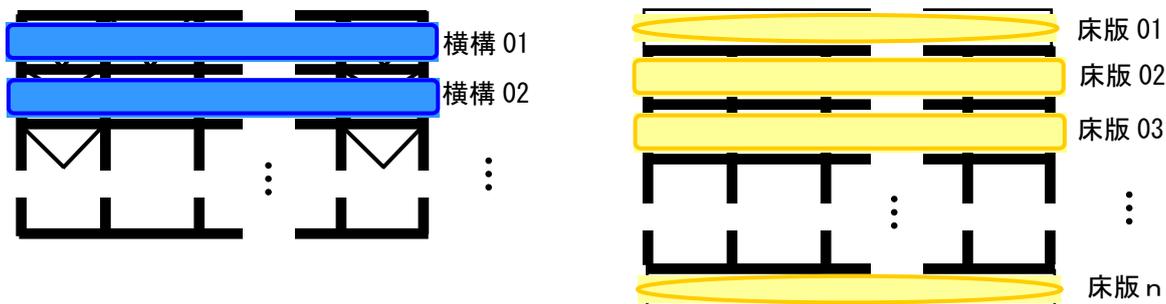
【横桁、対傾構】

外桁相互に至る部材1本を最小評価単位とする。



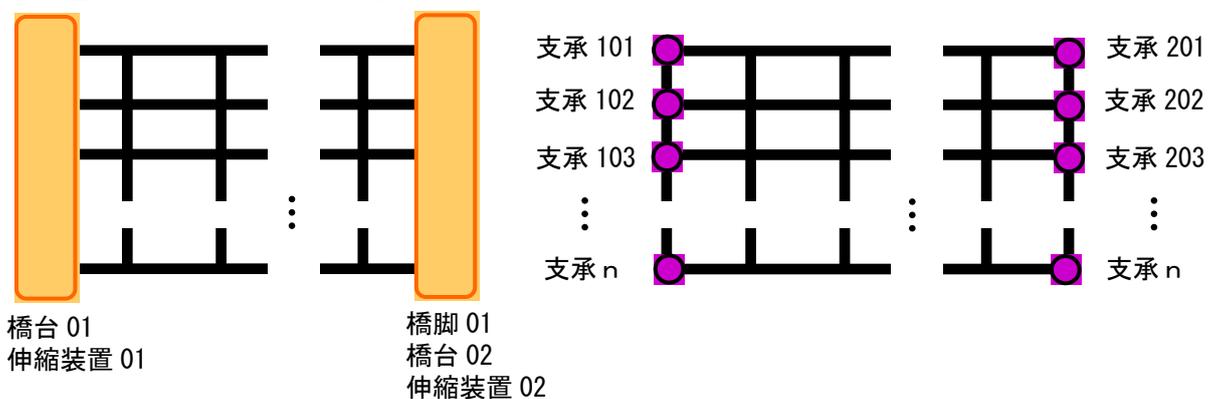
【横構、床版】

主桁によって分割された部材を最小評価単位とする。

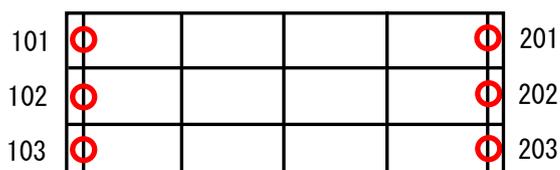


【下部工、支承、伸縮装置】

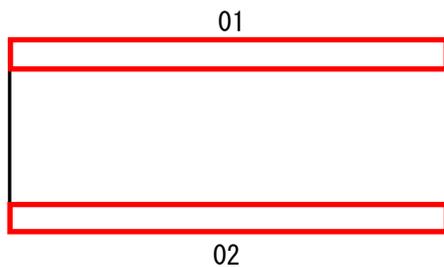
1基を最小評価単位とする。



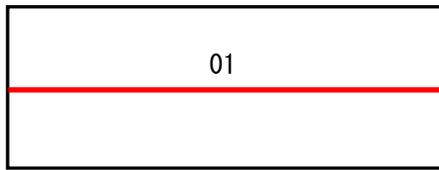
【落橋防止システム】



【高欄、防護柵、地覆、縁石、遮音施設】



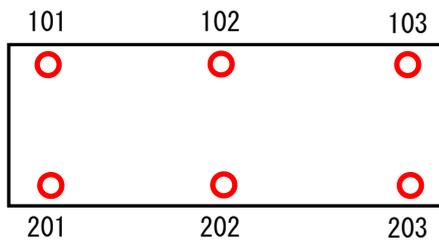
【中央分離帯】



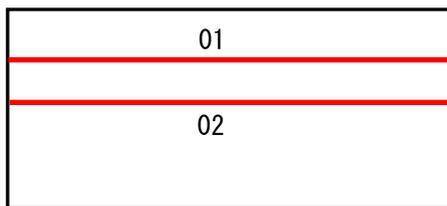
【舗装】



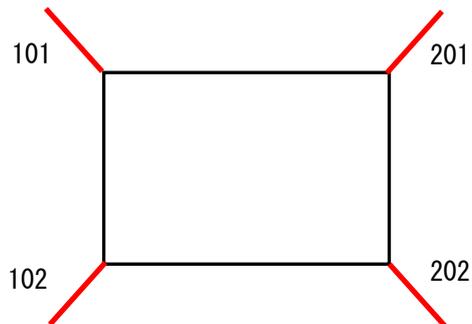
【排水施設】



【点検施設、添架物】

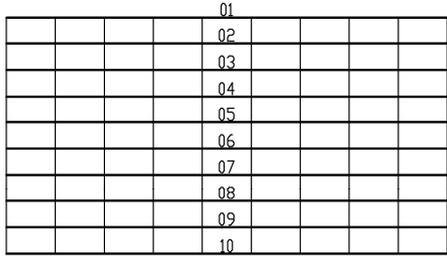


【袖擁壁】



部材番号図の作成例

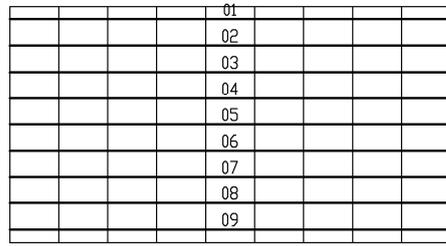
主桁



A1

A2

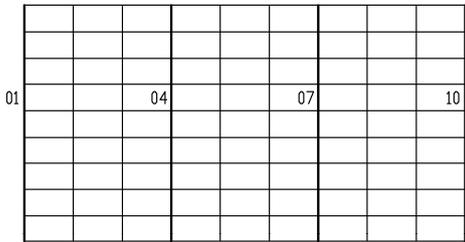
縦桁



A1

A2

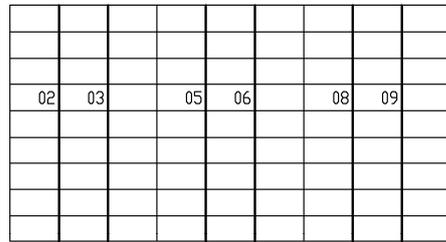
横桁



A1

A2

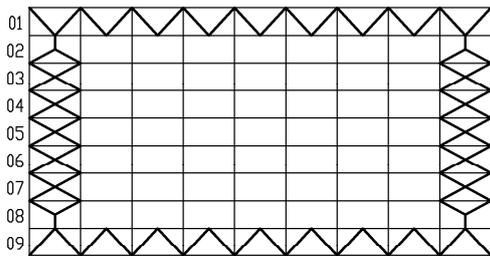
対傾構



A1

A2

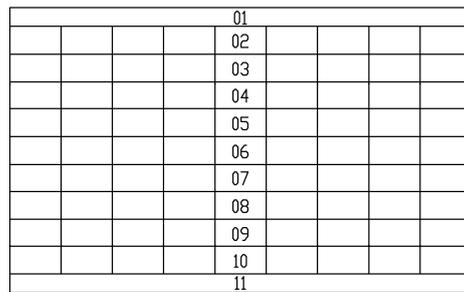
下横構



A1

A2

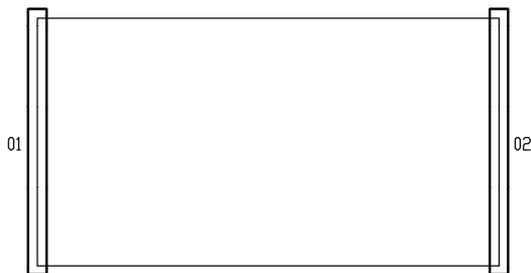
床版



A1

A2

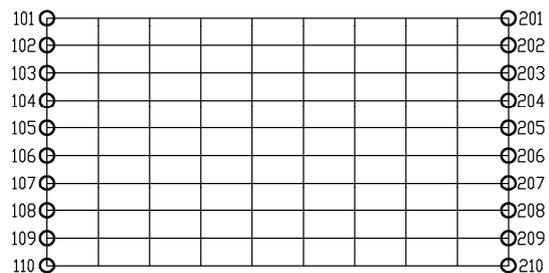
橋台(堅壁、胸壁、翼壁)



A1

A2

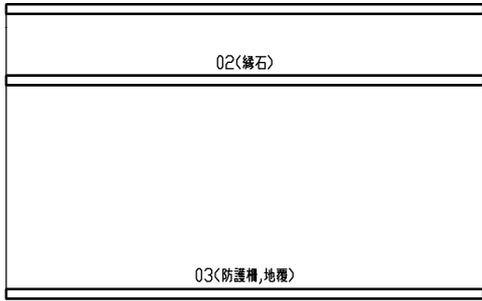
支承



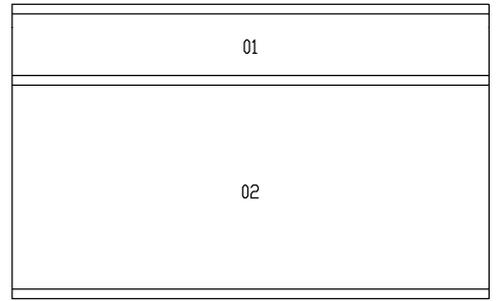
A1

A2

防護柵、地覆、縁石
01(防護柵、地覆)



舗装



排水施設(排水樹、排水管)



参考文献一覧

- 1) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.3
- 2) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.11-pp.14
- 3) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.15
- 4) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.16-pp.17
- 5) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.18-pp.19
- 6) 国土交通省道路局国道・防災課、橋梁定期点検要領（案）、平成 16 年 3 月
付録 3 定期点検結果の記入要領、pp.20